



## 【臨時号】

題字 小学部3組

ゆめをのせて

十日町市立ふれあいの丘支援学校 令和8年2月18日発行

令和6年度「いじめ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品



# 学校評価アンケート結果の報告

12月に、保護者の皆様から学校評価アンケートに答えていただきました。また、職員による学校評価アンケートも実施しました。以下、アンケート結果、並びに今後の改善点についてお伝えいたします。

## ふれあいの丘支援学校 令和7年度 学校評価アンケート後期【分析】

### ■保護者向けアンケート結果

1 回答数 30 (94%)

2 回答方法

・AからEの5段階で当てはまる記号を選択し、可能な範囲でその理由を記述した。

A: そう思う B: どちらかと言えば、そう思う C: どちらとも言えない D: あまりそう思わない E: 全くそう思わない

3 分析

・AとBの回答を「肯定的評価」、DとEを「否定的評価」として分析し、今後に向けた改善策をまとめた。

・表中の( )は、下から順に「令和6年度前期」「令和6年度後期」「令和7年度前期」の数値である。

・「どちらとも言えない」の欄を設けて、その増減も分析に加味した。

(1) 目標に向けた教育活動への取組		肯定的評価	否定的評価	どちらとも言えない
質問1	学校は教育目標（なかよく たのしく たくましく）の実現に向けた教育活動に取り組んでいると思いますか。	100% (100%) (100%) (100%)	0% (0%) (0%) (0%)	0% (0%) (0%) (0%)
質問2	学校は、同世代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を広げていく活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通し、同世代や異学年、あるいは地域の人たちとの人間関係に広がりが見られると思いますか。	94% (93%) (87%) (84%)	0% (3%) (0%) (3%)	6% (4%) (13%) (13%)
質問3	学校は、十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かな経験を積み重ねる活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通して、将来に必要な知識技能を身に付け、自分への自信を深めていると思いますか。	80% (83%) (84%) (77%)	0% (0%) (0%) (0%)	20% (17%) (16%) (23%)
質問4	学校は、身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行する活動に取り組んでいます。お子様は、この活動を通して、自分の暮らしを豊かにしたり人の役に立つことをしたりして、自己有用感を高めていると思いますか。	84% (76%) (71%) (71%)	3% (0%) (0%) (0%)	13% (24%) (29%) (29%)

#### □質問1、2について

「楽しみながら学んでいる姿が見られるから」「毎日楽しそうに学校のことを話してくれたり、教育活動のことも話してくれます」等の子どもの姿から、教育目標が具現化されていると肯定的な評価が質問1については100%である。

「同年代や異学年、地域の人たちとの人間関係を広げていく活動において、学校外で偶然会った方に声をかけていただく事があるなどし、成果を感じています」など、居住地校交流や同世代間交流などの各種の交流や校外学習等を通して、人間関係を広げていると肯定的な評価が多い。一方で、どちらでもないとの意見もあり、活動を保護者へ丁寧に伝える必要がある。

#### □質問3について

「色々な経験をしていて自信がとてもついたり見ていて感じられます」「今までできなかったことができるようになった」など、肯定的な評価が80%ある。一方で、「よく分からない」「どんな活動をしているのですか？」など、どちらとも言えないの評価が20%ある。

今後は、日頃の学習や校外学習などについて、より丁寧に目的や意義を説明すること、学習後には、子どもの変容をより丁寧に保護者へ説明していく必要がある。

#### □質問4について

「とても役に立っている」「自己有用感を高めている」などの肯定的評価が多い。前期よりも肯定的評価の数値が上がった。一方、どちらとも言えないとの評価が13%ある。今後も、人の役に立った、人から感謝された、人から認められたなどの「自己有用感」を高めている子どもの具体的な変容の姿を丁寧に保護者に伝えていく必要がある。

## (2) 教育活動に取り組んだ成果

(2) 教育活動に取り組んだ成果		肯定的評価	否定的評価	どちらとも言えない
質問5	お子様は、毎日楽しく登校していますか。	97% (100%) (94%) (94%)	0% (0%) (3%) (3%)	3% (0%) (3%) (3%)

「毎日学校を楽しみにしていて、土曜になると『早く学校行きたーい』と言っています」のように、登校を楽しみにしているとの回答が多い。安定して登校できるよう保護者や関係機関との連携、校内支援会議等を行い、引き続き個に応じた必要な支援を継続していく。

(3)本校の情報発信		肯定的評価	否定的評価	どちらとも言えない
質問6	学校は、各種たよりやホームページなどを通して、教育活動を地域に発信していると思いますか。	100% (90%) (100%) (100%)	0% (0%) (0%) (0%)	0% (10%) (0%) (0%)

「現在に適した形での情報発信がなされていると思う」などの肯定的な評価が100%であった。しかし、「地域となると広く周知できているかが分かりにくい」と広い地域への発信について課題との回答もある。地域全域に教育活動を発信するよう努めていく。

(4)安心で安全な教育環境		肯定的評価	否定的評価	どちらとも言えない
質問7	学校は、子どもたちにとって安心で、安全な教育活動を行うよう必要な対策を行っていると思いますか。	100% (100%) (100%) (100%)	0% (0%) (0%) (0%)	0% (0%) (0%) (0%)

「きめ細かなフォローにより安心、安全な教育活動が行われている」「学校に行ったときに、安心安全を感じられるから」など肯定的な評価が100%であった。教育活動の土台は安心安全である。学校の教育目標が達成されるよう、今後も子どもたちにとって安心、安全な環境づくりに努めていく。

#### (5) 2学期の教育活動を振り返って（自由記述）

質問8	本校が教育の柱に掲げている「共生の理念」は十日町・津南地域に浸透していると思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸透するにはまだまだですね…。ふれあいの丘だけの力では難しいと思います。周りの学校、企業、施設もまきこんで。もちろん親もどんどん使ってください。</li> <li>・「共生の理念」が少しずつ浸透していくことを祈りながらがんばりたいと思います。</li> <li>・他校との交流ができていて障がいのあり、なしに関わらない活動ができています。</li> </ul>	
質問9	特に、今後も続けてほしい教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くのスーパーへの校外学習は、日常でも一番役立つ内容のことが多い印象がございますので、大変良い教育活動の一つと考えております。</li> <li>・高等支援学校やそれ以降の場所の情報発信。</li> </ul>	
質問10	特に、新たに必要と思われる教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今より更に十中学区を超えた交流が増えることで質問8につながるのではないのでしょうか？</li> </ul>	
質問11	特に、改善を要する教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	
質問12	特に、必要がないと思われる教育活動がありましたら、ご記入ください。理由がありましたら、ご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	

#### (6)自由記述（一部抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前は通常学校と支援学校と、どちらが良いのか？と悩み、不安や心配がある中でふれあいの学校に入学しました。今は、先生方のおかげで、楽しく自立できるような指導や学習などが行われていて支援学校に入学して本当に良かったと実感しています。本当にありがとうございます。</li> <li>・いろいろな学年との関わりや十日町小の子どもたちとの交流を楽しんでいる様子が子どもとの会話から伝わってきます。</li> <li>・平素より大変お世話になっております。親が安心だと思える環境であれば、その事が子どもに伝わりより良い日常生活につながると思っております。毎日の、担任の先生方の努力に、毎日感謝の気持ちで一杯です。</li> <li>・PTAの勉強会にて去年も今年もとても勉強になりました。きっと息子のことを先生に聞いてさわいで高校生になるまでにできるかぎりいろんなことをできるようにしていきたいと思いました。</li> <li>・思春期に入り、私より先生たちの言うことを聞いてくれて助かっています。これからもよろしくお願いします。</li> <li>・いつもありがとうございます。活動1つにしても。子どもたちが安心、安全、分かりやすく活動できるように準備をし、授業をしてください。日々感謝しています。親では難しいような体験（経験）や校外学習などもたくさんあり、とてもうれしいです。</li> <li>・いつも丁寧に指導下さり、また学校生活も分かりやすく伝えて頂きありがとうございます。子どもも楽しく落ち着いて通うことができます。引き続きよろしく願いいたします。</li> <li>・子どもが色々な教育活動に参加させていただいています。参加することによって、自分の自信につなげたり、知らなかったことがわかって勉強になったりしています。活動することが勉強になっているので、今ある教育活動はありがたいです。</li> <li>・小学校6年間そして中学校3年間本当にお世話になりました。丁寧にきめ細かく、本人に寄り添い大きく成長できました。本当にありがとうございます。ふれあいの丘支援学校が十日町にあったこと親としても本当にありがたかったです。感謝の気持ちでいっぱいです。</li> <li>・フェスティバルのときに販売していたマグネットや缶バッジがすごく素敵でした。毎月10日にある「とおか市」などでも、ぜひ販売してほしいと思います。ふれあいの丘の児童たちの活動が皆さんに知ってもらえ良いと思います。</li> <li>・ほほえみの会クリスマス会にふれあいの先生はたくさん会に出てくれているので、クリスマス会の日を登校日にしたらどうか？</li> <li>・予定表についてです。今の連絡帳のように翌日の授業を知らせるタイプだと、お休みしたときに次に出席する日の予定がわからないため、できれば週予定を前の週にもらえるとありがたいです。C4 thで配信でもよいです。でも、先生方がすごく大変なら無理になくてもよいです。</li> <li>・先月、インフルエンザでたくさんの学校で学校閉鎖となりました。学校での感染状況などが全く分からなかったのも、もう少し発信やおたよりなどを出してほしいなと思いました。</li> </ul>	
--	--

#### □質問8～12について

「共生の理念」を地域へ浸透させるべく、同世代間交流や居住地校交流などの学習を推進していくことに加えて、特別支援学校のセンター的機能を地域の中でさらに発揮していく必要がある。

#### □自由記述について

日頃の教育活動に対して肯定的な評価をいただいている。一方、要望等もいただいている。学校全体で要望を共有し、すぐに改善できるものについては早急に対応していく。職員全体で協議等が必要な内容については検討し、次年度の方向性等について学校懇談会等で保護者の皆様へ説明していく。

## 令和7年度 学校評価アンケート後期【分析と次年度に向けて】

### ■職員向けアンケート結果

1 回答数 26

2 回答方法

・AからEの5段階で当てはまる記号を選択し、可能な範囲でその理由を記述した。

A: そう思う B: どちらかと言えば、そう思う C: どちらとも言えない D: あまりそう思わない E: 全くそう思わない

3 分析

・AとBの回答を「肯定的評価」、DとEを「否定的評価」として分析し、今後に向けた改善策をまとめた。

・数値は、令和7年度後期・前期、( )内は、令和6年度後期・前期の順に示している。

#### (1) 目標に向けた教育活動への取組

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問1	私たちは、教育目標に向けた教育活動に取り組んでいると思いますか。	<b>96%</b> 100% (96%) (100%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)	<b>4%</b> 0% (4%) (0%)
質問2	私たちは、同年代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を広げていく教育活動に取り組んでいると思いますか。	<b>100%</b> 100% (100%) (100%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)
質問4	私たちは、十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かに経験を積み重ねる教育活動に取り組んでいると思いますか。	<b>100%</b> 100% (96%) (96%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)	<b>0%</b> 0% (4%) (4%)
質問6	私たちは、身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行する教育活動に取り組んでいると思いますか。	<b>96%</b> 96% (79%) (92%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)	<b>4%</b> 4% (21%) (8%)

質問1・2・4・6の結果から、地域や人との関わり、教育目標に向けた活動については、前期同様、非常に高い評価が得られている。

・地域交流の広がり

十日町小学校との交流活動だけでなく、2学期は居住地校交流や同世代間交流も実施し、市内全体に交流の広がりが見られた。ビッグフェスタに中学部が参加する等、小・中学部間の人間関係もさらに充実している。児童生徒間の交流だけでなく、初任者研修や小中学部間給食交流などを通して、教員同士の交流も前期より進めることができた。次年度は、これらの取組をさらに発展させていく。

・校外学習と地域での学び

小中学部ともに、2学期も積極的に校外学習に出掛け、地域で学ぶ機会を増やしてきた。中学部では、商店街訪問発表会や中高連携事業もあり、将来につながる地域や川西高等特別支援学校とのつながりが深まった。今後も9年間でのキャリア教育を意識し、発達段階に応じた力の醸成をより一層推進していく。

・子ども理解の深化

校内での支援会議や保護者や関係機関を交えた支援会議を必要時に迅速に開催し、子ども理解を深めるとともに有効な手立てを多面的に検討することができた。**すべての支援や活動は、深い子ども理解から始まる。次年度はさらに全職員で話し合う機会を設定し、一人一人の実態に合った支援のあり方を工夫し続ける。**

#### (2) 教育活動に取り組んだ成果

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問3	児童生徒は、上記2（質問2）の活動を通して、同年代や異学年、あるいは地域の人たちとの人間関係に広がりが見られていると思いますか。	<b>100%</b> 100% (96%) (96%)	<b>0%</b> 0% (0%) (0%)	<b>0%</b> 0% (4%) (4%)

2学期は、十日町小との学年交流も積極的に行い、発達段階に応じた人との関わりを伸ばす機会となった。小学部5・6年生は、9月の親善陸上大会、1月の親善スキー大会に現地練習から参加し、地域の学校の児童と一緒に活動したり、話したりする場面が多く見られた。中学部は、CSボランティアに積極的に依頼し、地域の方から学んだり、朝会の進行だけでなく、準備や後片付けを自分たちから行うのが当たり前になっており、上級生としての意識が育まれ、下級生の憧れの手本となっている。次年度も、「前年度踏襲」や「活動を行うこと自体が目的化すること」のないように、**活動のねらいを明確にし、活動と一人一人の目標や配慮をつなげ、よりよい活動に発展させる。**

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問5	児童生徒は、上記4（質問4）の活動を通して、将来に必要な知識技能を身に付けて、自分への自信を深めていると思いますか。	<b>92%</b> 88% (91%) (92%)	<b>0%</b> 0% (0%) (4%)	<b>8%</b> 12% (9%) (4%)

様々な活動や体験によって、児童生徒の「笑顔」と「他者への働きかけ」が増えたと感じている。全体での活動の感想発表では、多くの児童生徒が挙手をして前に出て発表し、活動の経験が「がんばった達成感」と「誰かに伝えたい想い」にあふれるものになっている。また、9月には、地域公開講座で、今年度の研修テーマ「深い学びにつながる評価の工夫」の授業実践を公開し、具体的な支援方法を模索した。**次年度も研修テーマを継続し、児童生徒の「わかった」「できた」「伝えたい」を大切にしたい支援を続けていく。**

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問7	児童生徒は、上記6（質問6）の活動を通して、自分の暮らしを豊かにしたり人の役に立つことをして、自己有用感を高めていると思いますか。	88%	0%	12%
		92%	0%	8%
		(91%) (87%)	(0%) (0%)	(9%) (13%)

教育活動を通して、1学期よりもさらに達成感や充実感を得ている児童生徒の姿が多く見られた。自ら気づいて動く児童生徒の姿だけでなく、周りからやってもらったことに気づいて感謝の言葉を伝える場面も増えた。今後も自分ができることには積極的に取り組み、苦手なことには他者の助けを借りたり、自分に合ったやり方で挑戦する子どもを育てる。一人一人が「できた」を感じる経験を増やし、「やってみよう」につなげていくために、一律の支援方法ではなく、一人一人の発達段階や成長を確認し、焦らず段階的に支援していく姿勢を大切にする。

### (3)本校の情報発信

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問8	本校は、各種たよりやホームページなどを通して、教育活動を地域に発信していると思いますか。	100%	0%	0%
		100%	0%	0%
		(100%) (96%)	(0%) (4%)	(0%) (0%)

1学期の評価を受けて、2学期はホームページの更新を早め、タイムリーな情報発信に努めた。また、感染症の発生状況や自然災害の注意喚起等をホーム&スクールで積極的に発信した。今後も情報発信に努め、学校の取組や児童生徒の頑張る姿が保護者や地域に伝わるようにしていく。また、おたよりだけでなく、次年度は「フリー参観日」を設けるなど、保護者に学校の様子を知ってもらう機会を増やす。

### (4)安心で安全な教育環境

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問9	本校は、子どもたちにとって安心で、安全な教育活動を行えるよう必要な対策を行っていると思いますか。	83%	4%	13%
		92%	8%	0%
		(96%) (88%)	(0%) (4%)	(4%) (8%)

2学期もクマ出没情報や大量の降雪など、例年にない対応が求められることが多かった。日々、市教委からの通知やホームページ等で状況確認を行いながら、安全を第一優先とした活動を模索した。また、校内では、子どもの視点からの適切な言葉かけや支援のあり方についての再考を求める意見が多くあがった。次年度は、さらに、安全と教育活動のバランスをとりながら対応できるように、校内安全衛生委員会を機能させる。そして、児童生徒の心理的安全性を大前提とした支援のあり方を保護者や関係機関を交えて検討し、個別の指導計画に位置づけて支援を展開する。

### (5)目指す学校の姿

		肯定的評価	否定的評価	どちらでもない
質問10	本校は、一人一人の強みや弱みを共有し、信頼関係のある居心地のよい職場環境を整えていると思いますか。	56%	20%	24%
		56%	12%	32%
		(54%) (57%)	(13%) (13%)	(33%) (30%)
質問11	本校では、互いにコミュニケーションがとれ、共通の目標を持って仕事ができていると思いますか。	60%	28%	12%
		64%	12%	24%
		(71%) (63%)	(8%) (12%)	(21%) (25%)
質問12	本校では、互いの指導方法や教育観を大切に、自分がやりたいと思う授業ができていると思いますか。	67%	16%	17%
		78%	4%	18%
		(71%) (79%)	(8%) (8%)	(21%) (13%)

質問10～12の結果から、1学期に続き、互いの強みや弱みを活かし、信頼関係のある職場づくりや共通の目標に向けたコミュニケーションについて、さらに良くしていかなければならないと考える。1学期に比べ、一人一人の思いや考えを出せる場面を工夫したことで、これまで抑えていた思いが表面化してきた。一方で、未だに言葉に出せず、抱え込んでいる職員もいる。どの職員も「子どもたちの力を伸ばすために」という思いは共通している。しかし、教育観やこれまでの経験の違いから、感じ方や考え方に差異が生じることもある。その違いをお互いに批判するのではなく、多様な視点や新たな発想を生み出す力へと転換していくことが必要である。また、どんなに子どもへの思いがあったとしても、子どもの安心安全が最優先である。次年度は、職員一人一人の考えや思いを共有する機会をより多く確保するとともに、思いを具現化する方法を子どもを真ん中に置き「子どもたちの力を伸ばす」という共通の目標に基づいて、一人一人が自らの役割を果たしながら力を発揮できる職員集団づくりに取り組む。

保護者の皆様、今年度の学校評価アンケートにご回答いただき、大変ありがとうございました。多くの項目で肯定的な評価をいただき、さらに充実した指導・支援をしていきたいと考えております。肯定的な評価ではなかった項目もありましたので、来年度改善に努めていきます。

保護者の皆様、今後も当校の教育活動にご支援・ご協力よろしくお願いいたします。



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32  
TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472  
✉ tokamachi.fureai-ss@edu-niigata.ed.jp

